世界をリードする、ラベル、バーコード、
RFID、カードの印刷用ソフトウェア

BarTender アプリケーションスイートのスタートアップガイド

概要、インストール、
および基本的な使用方法

(日本語版)

版番号: 13.06.20.1541
日本語

SEAGULL SCIENTIFIC

© Copyright Seagull Scientific, Inc. 2001-2013.All rights reserved.

Information in this document is subject to change without notice.No part of the publication may be reproduced, transmitted, transcribed, stored in a retrieval system, or translated into any language in any form or by any means without the written permission of Seagull Scientific, Inc.
HASP® is a registered trademark of Aladdin Knowledge Systems, Ltd.
Windows and the Windows logo are trademarks of the Microsoft group of companies.
SQL Server™ is a trademark, of Microsoft Corporation.
Oracle® is a registered trademark of Oracle Corporation.
SAP™ is a trademark of SAP Aktiengesellschaft.
The Ready for IBM Websphere software mark and the trademarks contained therein are trademarks of IBM Corp. IBM is not the licensor of this Business Partner's product and does not make any warranties regarding this Business Partner's product.
BarTender® is a registered trademark of Seagull Scientific, Inc.

All other registered names and trademarks referred to in this manual are the property of their respective companies.

目次

第 1 章:BarTender アプリケーションスイートの概要 1

概要 1
BarTender 1
Drivers by Seagull 2

統合 2
Commander 3
BarTender .NET SDK 4

システム管理 5
BarTender Security Center 5
Printer Maestro 5
Librarian 7
History Explorer 7
Seagull License Server 8
System Database Setup 9

印刷ユーティリティ 9
Web Print Server 9
Reprint Console 10
Print Station 10
Batch Maker 11

第 2 章:インストールとライセンス認証 13

BarTender アプリケーションスイートのインストール 13
Basic および Professional 版のインストール計画 13
Automation 版のインストール計画 13
インストールの手順 15
BarTender System Database のインストール 15
System Database の作成と管理 15
System Database へのデータの書き込みとファイルの保存 16

プリンタドライバのインストール、アップグレード、および削除 16
概要 16
ドライバのインストール手順 16
プリンタドライバのアップグレード 17
プリンタドライバの削除 17

ライセンス認証 18

第 3 章:BarTender の使用方法 19

概要 19
ドキュメントとテンプレート 19
新しい BarTender ドキュメントの作成 19
指定プリンタの変更 20
指定メディアサイズの変更 21
テキストオブジェクトの作成 22
バーコードオブジェクトの作成 23
RFID オブジェクトの作成 23
オブジェクトの選択と選択解除 24
オブジェクトを移動する 24
オブジェクトの引き伸ばしとサイズの変更 24
オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け 25
オブジェクトをテンプレートデザインエリアから削除する 25
テキストまたはバーコードオブジェクトのデータソースの指定 26
印刷のためにデータベースへの接続を設定する 28
バーコードのオプションの変更 29
フォントの変更 29
オブジェクトのプロパティに対するその他の変更 30
画像のインポート 30
印刷 30
既存の BarTender ドキュメントからの開始 31
BarTender ツールボックス 32

BarTender ヘルプへのアクセス方法 32

第 4 章:Commander 統合ユーティリティ 35

Commander とは? 35

Commander の一般手順 36
Commander の起動 36
Commander のタスク一覧の作成/変更 36
Commander のタスクの削除、移動、再配列 37
Commander のタスク一覧の実行 37
その他の情報 37

付録 A:パフォーマンス向上のための設定 39
パフォーマンス向上のためのヒント 39
印刷機能は、必ずしもすべてのプログラムに対応していない 40

付録 B:プリンタドライバのトラブルシューティング 41
印刷時の問題を解決するための操作手順 41

付録 C:シリアル通信 47
概要 47
設定とケーブルに関する問題 47
シリアルポートの設定 48
プリンタでのシリアルパラメータの設定 49
Windows でのシリアルパラメータの設定 49
適切なシリアルケーブルの使用 50

付録 D:技術サポート 53
技術サポートを受けるにはソフトウェアの登録が必要です。 53
ご使用のコンピュータのすぐそばから電話してください。 53
Visual Basic スクリプトの技術サポートについて 53
技術サポートの連絡先 53

索引 55

第 1 章:BarTender アプリケーションスイートの概要

概要

BarTender アプリケーションスイートには、メインのデザインおよび印刷アプリケーションに加えてさまざまな付属アプリケーションおよびその他のコンポーネントが含まれています。これらすべてが総合して、他のラベル、バーコード、カード、値札、部品またはダンボール箱印刷ソフトウェアパッケージにはない、高い水準の機能性と柔軟性を提供します。

ご購入いただいた BarTender の版によっては、インストールから 30 日間のみご利用いただけるアプリケーションが含まれている場合もあります。別途記載がない限り、インストールされたコンポーネントは Windows の [**スタート**] メニューの BarTender フォルダから実行できます。

BarTender

BarTender はスイートの中の主要なデザインおよび印刷アプリケーションです。BarTender は、当初ラベルおよびバーコード用ソフトウェアとして知られるようになりましたが、現在では強力な追加機能が搭載されたカード (磁気ストライプの有無にかかわらず)、RFID、値札、フィルム包装、段ボール箱などにも使用できる多目的デザインおよび印刷アプリケーションとなっています(RFID に対応していない版もあります)。

詳細情報

オンラインヘルプ:アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

本書の「BarTender の使用方法」の章では基本的な使用方法を説明します。

Drivers by Seagull

Seagull Scientific 社は、感熱式プリンタ用 Windows プリンタドライバを初めて開発しました。現在、当社は 2,800 以上のモデルのラベルプリンタをサポートする世界で最も高性能の、かつ最も評価の高いドライバを生産しています。

BarTender は、レーザー、インクジェットおよびドットマトリクスプリンタを含む世界のほぼすべてのプリンタ製造業者の提供するドライバで動作します。ただし、BarTender で最高のパフォーマンスが保証されるのは Drivers by Seagull™ を使用した場合です。

詳細情報

本書の*プリンタドライバのインストール、アップグレード、および削除*のセクションを参照してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/The-Advantage-of-True-Windows-Printer-Drivers-by-Seagull(Japanese).pdf

統合

BarTender の Basic 版以外のすべての版では外部のデータを読み込むことができます。ただし、他のソフトウェアからの操作が可能なのは 2 つ Automation 版のみです。その方法の一部についてはこのセクションで解説します。

詳細情報

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Barcode-and-Label-Software-Integration-Methods(Japanese).pdf

Commander

(BarTender の 2 つの Automation 版でのみ、30 日を過ぎた後も使用できます。)

Commander は、他のソフトウェア上から Bartender の操作を可能にするミドルウェアユーティリティです。BarTender SDK を利用して同様の操作を行うことが不便な場合および不可能な場合に使用します。ソフトウェアアプリケーションが印刷することが必要な場合は、このユーティリティがネットワーク上で選択した場所へのファイルの配置や、TCP/IP ソケット接続を通じて情報を送信するなどのトリガ操作を行います。Commander は、これらの「トリガ」を検知して BarTender を起動し、印刷ジョブを自動的に生成します。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Barcode-and-Label-Software-Integration-Methods(Japanese).pdf

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Codeless-Integration-of-Barcode-and-Label-Printing-with-other-Software(English).pdf

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Commander-Examples(English).pdf

BarTender .NET SDK

BarTender .NET SDK が提供されるまでは、BarTender を他のソフトウェア上からプログラムによって操作するには、BarTender の ActiveX Automation インターフェースを通じて操作するしかありませんでした。この方法は、現在も有効で柔軟な BarTender の操作方法の一つです。しかし、現在では、.NET プログラマにはさらに速く、より簡単なオプションが提供されています。BarTender .NET Software Development Kits (SDK) には、あらかじめ書かれたソースコードおよび詳細なドキュメンテーションが含まれており、BarTender を操作するコードを簡単に作成することができます。自動印刷のために一般的に必要となるルーティンを初めから作りあげる必要はありません。C# または VB.NET を理解していれば、BarTender の機能をシームレスに他のアプリケーションに統合できるようになりました。

BarTender の .NET SDK に含まれる内容:

- サンプル web アプリケーションを含む簡単なソースコードとプロジェクトファイル
- 詳細なドキュメンテーション
- Visual Studio との統合

詳細情報

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Controlling-Barcode-Label-Software-using-C-Sharp-and-VB.NET(English).pdf

システム管理

印刷環境を管理し、安全性を確保するための複数のユーティリティが含まれています。

BarTender Security Center

(BarTender の 2 つの Automation 版でのみ、30 日を過ぎた後も使用できます。Enterprise Automation 版でのみ使用できる機能もあります。)

システム管理者は、BarTender Security Center を使用することにより、BarTender アプリケーションスイートの各アプリケーション内でどのユーザーおよびユーザーグループが特定の機能を実行できるかを制御する権限を定義できます。たとえば、あるユーザーは、テンプレートを変更および印刷でき、他のユーザーは印刷のみをできるように指定することができます。Security Center は「デジタル署名」にも対応しています。ユーザーが特定の操作を実行する際に、パスワードを入力させて、ユーザー ID を確認することができます。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Barcode-and-Label-System-Security(Japanese).pdf

Printer Maestro

(以下に一覧表示されている Printer Maestro 機能の中には、エディションによっては、使用を開始してから 30 日を過ぎると使用できなくなるものもあります。)

Printer Maestro ソフトウェアアプリケーションは、Windows 内の複数の印刷管理機能を 1 つに統一して表示するため、プリンタと印刷ジョブの管理を簡単に行うことができます。さらに Printer Maestro はプリンタ備品を管理するための新機能が搭載されています。

Printer Maestro には次の機能が含まれています。

- プリンタと印刷ジョブの管理
  - ネットワーク上の各プリンタと印刷ジョブの状態を、便利なカスタマイズ可能な単一ビューに表示して管理できます(Printer Maestro がない場合は、Windows では各プリンタのビューを個別に表示する必要があります)。
  - 電子メールやテキストのメッセージによって、プリンタと印刷ジョブのエラーを警告します。
  - 簡単にプリンタを設定できます。
- プリンタ備品の管理 (Enterprise Automation 版のみ)
  - プリンタのメディアの使用状況を追跡して、「メディアが少なくなっています」という警告を送信します。
  - ラベル、カード、リボン、プリントヘッドなどの印刷消耗品の在庫状況を追跡して「在庫が少なくなっています」という警告を送信します。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Enterprise-Print-Management(Japanese).pdf

Librarian

(Enterprise Automation 版でのみ、使用開始から 30 日を過ぎた後も使用できます。)

BarTender Librarian は大規模なグループのユーザー、デザイナー、および管理者が協力して安全に BarTender ドキュメントや他のファイルの保存および編集の管理を行えるようにします。Librarian は、ファイルを、安全性のないハードディスクではなく、BarTender System Database に保管します。その後、ファイルのカスタム状態 (提案済み、承認済み、発行済みなど) およびそれらの状態の移行に関するワークフローの管理ルールを定義することができます。改訂履歴を簡単に確認でき、必要があれば旧バージョンのファイルにロールバックすることも可能です。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Librarian.pdf

History Explorer

(BarTender の 2 つの Automation 版でのみ、使用開始から 30 日を過ぎた後も使用できます。)

History Explorer は、以前に印刷したラベルに関するログ情報や、印刷ジョブを処理したアプリケーションによって作成されたすべてのメッセージを表示するアプリケーションです。History Explorer は、BarTender を使用して印刷動作をチェックすることができるようにするために必要です。History Explorer を動作させるには、BarTender System Database (*BarTender System Database のインストール* のセクションを参照) が

BarTender アプリケーションスイートからログ記録できるように設定する必要があります。

詳細情報

オンラインヘルプ:アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/History-Explorer.pdf

Seagull License Server

(2 つの BarTender Automation 版でのみ必要です。)

Seagull License Server (SLS) は 2 つの Automation 版で使用できる最大プリンタ数を監視、強制するソフトウェアユーティリティです。このプログラムは、ネットワーク上のコンピュータで、バックグラウンドで自動的に動作します。SLS と BarTender 間の交信はシームレスに行われるため、BarTender のユーザーは、SLS が実行中であることさえ知る必要はありません。

詳細情報

オンラインヘルプ:アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。BarTender オンラインヘルプの「ライセンス設定ダイアログ」の項もあわせて参照してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Licensing-for-Bartender's-Automation-Editions(English).pdf

System Database Setup

（BarTender の 2 つ Automation 版のみのオプション機能）

System Database Setup は、BarTender System Database を設定するためのユーティリティです。SQL サーバーまたは SQL Express データベースのいずれかをホストに設定できます。BarTender を使用するためにデータベースは必要ではありませんが、BarTender 印刷ジョブに関する情報をログに書き込んだり、その他の BarTender アプリケーションスイートからのメッセージを記録するために必要です。これによって History Explorer を使用して後で調査したり、Reprint Console を使用することが可能になります。また、Librarian の使用にも必要となります。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/BarTender-System-Database.pdf

印刷ユーティリティ

Web Print Server

BarTender Web Print Server は、BarTender Enterprise Automation 版に付属している ASP.Net アプリケーションです。一般的な web ブラウザを使って、サーバーで実行中の中央管理された BarTender のコピーに接続し操作することが可能になります。LAN、WAN またはインターネット上のリモートプリンタを経由して、どこからでも BarTender ドキュメントを選択および出力できます。

詳細情報

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Web-Based-Barcode-and-Label-Printing.pdf

Reprint Console

(BarTender の 2 つの Automation 版でのみ、使用開始から 30 日を過ぎた後も使用できます。)

Reprint Console を使用すると、以前の印刷ジョブを簡単に再印刷できます。ジョブ全体、または一部を選択することができます。他のプログラム内から同じ印刷ジョブを再印刷するのに必要な一連の操作を再現できない場合があるので、これは自動印刷環境で特に便利です。たとえば、他のプログラムのデータベースの情報が変更されている場合があります。Reprint Console を使用するには、前の章で説明されている BarTender System Database を使用する必要があります。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Reprint-Console.pdf

Print Station

BarTender の Print Station ユーティリティは、技術知識のないユーザーでも BarTender デザインプログラムの内容を見ることなく「ポイント

してクリックするだけ」で BarTender ドキュメントを選択、印刷できる環境を提供します。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/WhitePaper_PrintStation.pdf

Batch Maker

(BarTender の Basic 版では、使用開始から 30 日を過ぎると使用できません。)

Batch Maker ユーティリティを使用すると、複数の BarTender ドキュメントを指定して 1 つの「バッチ」として簡単に印刷できます。バッチは Batch Maker 自体から印刷することも、BarTender、Print Station、Windows エクスプローラから印刷することも可能です。

詳細情報

*オンラインヘルプ:*アプリケーションの実行中に F1 キーを押してください。

ホワイトペーパー:

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/WhitePaper_BatchMaker.pdf

第 2 章:インストールとライセンス認証

BarTender アプリケーションスイートのインストール

インストールが必要な BarTender のコンポーネントは、ご購入いただいた版および必要な機能によって異なります。インストール前に、下記の説明に従って事前にインストールを計画してください。必要なモジュールをインストールすると、ソフトウェアのライセンス認証を行うよう促されます。この手順は必須です。(詳細については、ライセンス認証を参照してください。)

Basic および Professional 版のインストール計画

BarTender をどのコンピュータにインストールするか決定する必要があります。さらに、デフォルトでは以下の付属アプリケーションがインストールされます。

- Print Station
- Batch Maker (Professional 版のみ)

Automation 版のインストール計画

Seagull License Server (SLS) のコピーを 1 つインストールする必要があります。

- **BarTender のコピーを 1 つ実行する場合:**この場合、SLS と BarTender は通常、同一のコンピュータにインストールされます。

- **ネットワーク上の複数のコンピュータで BarTender を実行する場合:**この場合、SLS は、すべての BarTender のコピーからネットワーク経由でアクセスできるコンピュータにインストールする必要があります。オプションとして、SLS がインストールされているコンピュータに BarTender のコピーを 1 つインストールして実行することもできます。

インストールプログラムは、SLS と BarTender アプリケーションスイートの両方をインストールしますが、オプションとして、これらのどちらかをインストールすることもできます。BarTender アプリケーションスイートをインストールすると、デフォルトで以下の付属アプリケーションがインストールされます。

- Commander
- Security Center
- Librarian (Enterprise Automation 版のみ)
- History Explorer
- Printer Maestro
- System Database Setup
- Reprint Console
- Print Station
- Batch Maker

以下の追加コンポーネントを同時にインストールすることができます:

- Seagull License Server
- BarTender .Net SDK
- BarTender Web Print Server (Enterprise Automation 版のみ)

(これらの追加コンポーネントが必要がどうか分からない場合は、後でインストールプログラムを実行して、[変更] オプションを選択することでいつでも追加できます。)

SLS または上記の他の付属アプリケーションの詳細については、本マニュアルの第 1 章を参照してください。

インストールの手順

インストールの開始:

1. BarTender CD をコンピュータの CD ドライブに挿入します。StartMenu プログラムが自動的に立ち上がらない場合は、CD のルートフォルダから **STARTMENU.EXE** を手動で実行します。
2. [**インストール**] セクションで、[**BarTender アプリケーションスイート**] をクリックして、インストールプログラムの指示に従ってください。

Automation 版では、新しい BarTender System Database を作成、または既存のものに接続するために付属アプリケーションが必要です。詳細については次のセクションを参照してください。

BarTender System Database のインストール

(この BarTender System Database のトピックは、2 つの Automation 版にのみ適用されます。)

System Database の作成と管理

BarTender をはじめて実行したときに System Database がまだインストールされていない場合は、System Database 設定ウィザードを実行するかどうかたずねられます。System Database としてお持ちの Microsoft SQL Server を使用するか、BarTender に無料で同梱されている Microsoft SQL Express を使用することができます。

System Database Setup ウィザードをすぐに実行しない場合は、Windows の [スタート] メニューの BarTender フォルダから後でこのオプションを手動で選択することができます。

System Database へのデータの書き込みとファイルの保存

BarTender アプリケーションスイートのほぼすべてのアプリケーションは System Database に情報を書き込むことができます。ただし、各アプリケーションには、まず有効にするべきロギングおよび保存オプションがあります。各アプリケーションのヘルプシステムで確認してください。

プリンタドライバのインストール、アップグレード、および削除

概要

Bartender 8.0 以降、Drivers by Seagull™ には Seagull ドライバウィザードユーティリティが付属しています。

Microsoft の「プリンタの追加」ウィザードに関する注意:

ドライバをインストール、削除、およびアップグレードするには、Seagull のドライバウィザードを必ず使用してください。Windows に付属している「プリンタの追加」ウィザードでは、ドライバのアップグレードが正しく実行されない場合があります。

ドライバのインストール手順

1. プリンタの電源を切って、適切なケーブルを接続し、もう一度電源を投入してください。

2. プリンタが「プラグアンドプレイ」をサポートしていて、USB ケーブルやパラレルケーブルを使用して接続した場合は、Windows の「ハードウェアの追加ウィザード」によって自動的にプリンタが検出され、ドライバのインストールダイアログが表示されます。[**キャンセル**] をクリックして、この Windows ウィザードを使用してインストールしないようにしてください。
3. 代わりに、StartMenu プログラムの [**インストール**] セクションから、[**プリンタ Drivers by Seagull**] をクリックします。
4. [**プリンタドライバのインストール**] を選択してウィザードを実行します。
5. これで、Seagull 製ドライバが正しくインストールされました。

プリンタドライバのアップグレード

プリンタドライバをアップグレードする場合は、Windows の [プリンタの追加] ウィザードを使用しないでください。正しくアップグレードされないドライバファイルが発生することがあり、プリンタドライバが壊れた状態になる場合があります。

既存のプリンタドライバをアップグレードする場合は、Seagull の Driver ウィザードを次の手順で使用してください。

1. StartMenu プログラムの [**インストール**] セクションから、[**プリンタ Drivers by Seagull**] をクリックします。
2. [**プリンタドライバのアップグレード**] を選択してウィザードを実行します。

プリンタドライバの削除

システムからプリンタドライバを削除するには、ドライバウィザードを使用できます。

1. StartMenu プログラムの [**インストール**] セクションから、[**プリンタ Drivers by Seagull**] をクリックします。
2. [**プリンタドライバの削除**] を選択してウィザードを実行します。

ライセンス認証

インストール中に、ソフトウェアのライセンス認証を実行できます。ライセンス認証は、ソフトウェア製品の使用制限を解除して、ソフトウェアの著作権を守るための処理であり、短時間で簡単に匿名で行われます。ライセンス認証を選択すると、[**ライセンス認証ウィザード**] が実行されます。ライセンス認証とプライバシーの詳細については、[**ヘルプ**] ボタンをクリックしてください。

第 3 章:BarTender の使用方法

概要

この章では、BarTender ドキュメントおよび作成と編集プロセスについて説明します。

まず、BarTender を起動します。BarTender のようこそダイアログが表示され、新しい BarTender ドキュメントを作成するか、既存のドキュメントを開くかを選択できます。

ドキュメントとテンプレート

テンプレートとは、ラベル、カード、値札などの印刷するアイテムのデザインです。テンプレートには、テキスト、バーコード、線、形状、画像などのさまざまな種類のオブジェクトを作成できます。

BarTender ドキュメントには、一般的に、テンプレートが 1 つのみ含まれます。ただし、BarTender には、単一のドキュメント内に複数のテンプレートをデザイン、保存し、そのテンプレート間で自動的に切り替える機能があるため、より高度なアプリケーションでの統合作業を大幅に簡略化できます。

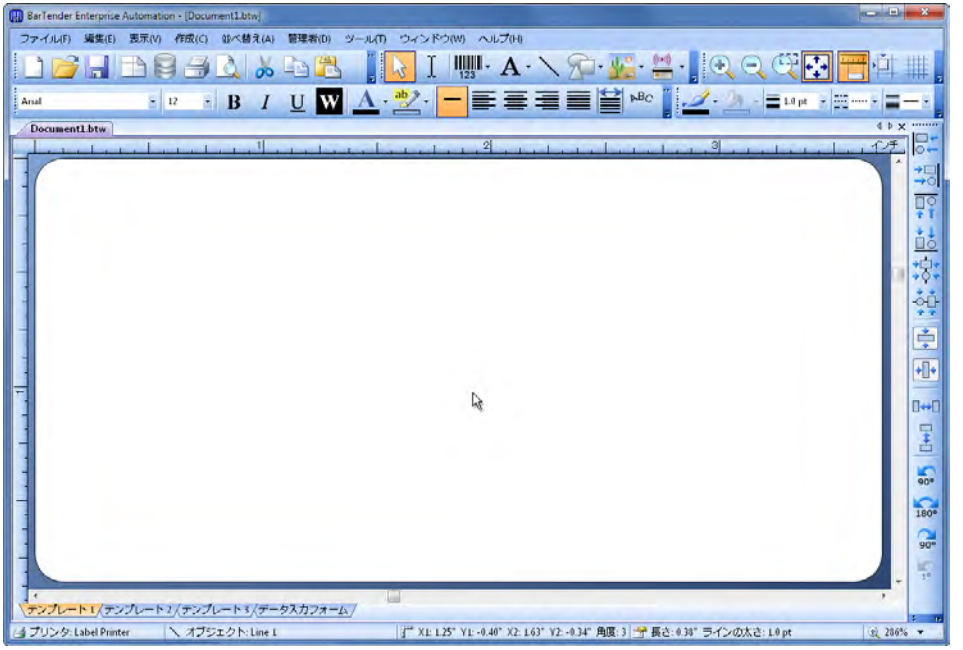
新しい BarTender ドキュメントの作成

新しい BarTender ドキュメントを作成するには:

1. [ファイル] メニューで [新規作成] を選択します。[ドキュメントの新規作成ウィザード] が開きます。

2. [**ドキュメントの新規作成ウィザード**] は、ドキュメントと関連テンプレートの開始に必要な手順を示します。

ウィザードを実行中に指定するパラメータの 1 つには、優先プリンタがあります。テンプレートをデザインする前に指定することで、フォントオプションすべてが使用できるようになり、バーコードが正しい寸法で印刷されます。優先プリンタやメディアの大きさを後で変更する必要がある場合は、次の 2 つのセクションの説明に従ってください。



新しい BarTender ドキュメントの空のテンプレート。

指定プリンタの変更

1. [**メイン**] ツールバーのプリンタボタン をクリックするか、[**ファイル**] メニューの [**印刷**] をクリックし [**印刷**] ダイアログを表示します。

2. [**プリンタ名**] オプションの右にある下矢印をクリックし、インストールされているプリンタドライバの一覧を表示します。
3. 印刷するプリンタの名前をクリックします。

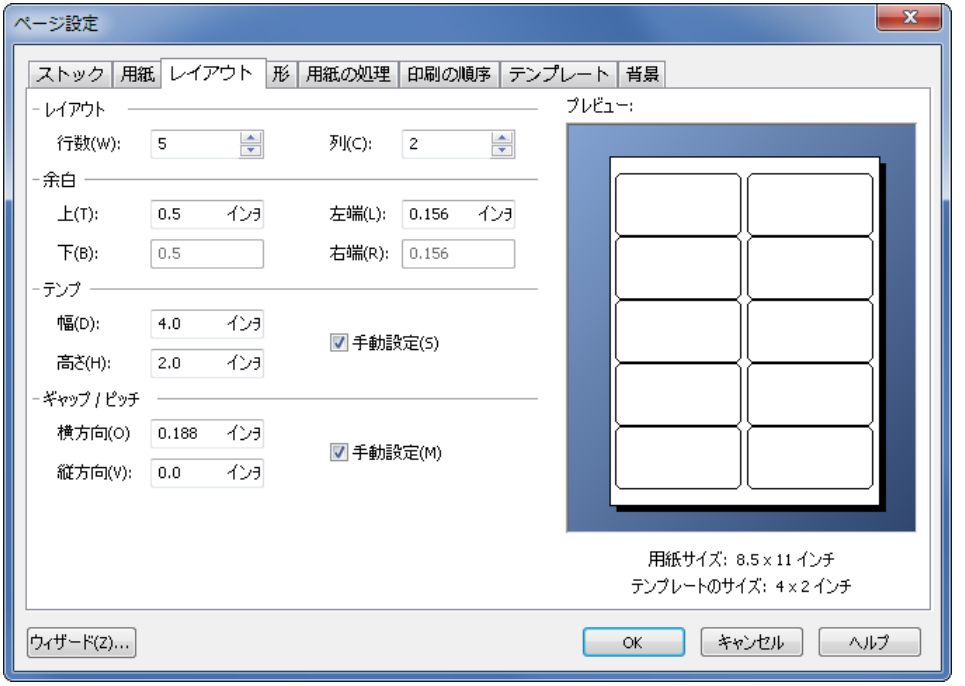
注意:

目的のプリンタが一覧にない場合は、Seagull ドライバウィザードを使って、プリンタドライバをインストールします。*プリンタドライバのインストール、アップグレード、および削除*を参照してください。

4. [**閉じる**] をクリックします。

指定メディアサイズの変更

1. [**メイン**] ツールバーのページ設定ボタン をクリックするか、[**ファイル**] メニューの [**ページ設定**] をクリックするか、またはテンプレート表示エリアの空白部分をダブルクリックして、[**ページ設定**] ダイアログを表示します。
2. [**ストック**] タブをクリックし、[**カテゴリ**] リストから適切な製造元を選択します。(ラベル、カード、値札などのストックの製造元が一覧にない場合は、手順 4 に進んでください。)
3. [**ストック名**] 一覧から、ストックを選択します。(ストックが一覧に表示されていない場合は、手順 4 に進みます。表示されている場合は [**OK**] をクリックします)。
4. [**ページ**] タブをクリックし、[**ページサイズ**] と [**向き**] ([**縦**] または [**横**]) を指定します。



5. [**レイアウト**] タブをクリックし、用紙の余白、行数、および列数を指定します。(通常、レーザープリンタのみで使用することができ、感熱式プリンタのラベルストックには列と行 (またはこのうちのいずれか) が設定されています)。
6. [**レイアウト**] タブの他の値を基に、デフォルトで、BarTender は自動的にラベル、カード、値札などの印刷するアイテムの高さや幅を計算します。これらの寸法を上書きするには、[**手動で設定**] チェックボックスにチェックを付け、[**高さ**] と [**幅**] コントロールに値を入力します。
7. [OK] をクリックします。

テキストオブジェクトの作成

1. [メイン] ツールバーのテキストの新規作成ボタン をクリックします。

2. 一般的なテキストオブジェクトの場合、ドロップダウンメニューから [**単一線**] を選択します。
3. カーソルをテンプレートデザインエリアに移動して、オブジェクトの中央になる位置をクリックします。

注意:

BarTender ツールボックスを使用してオブジェクトをテンプレートに追加することもできます。下記の *BarTender ツールボックス*を参照してください。

バーコードオブジェクトの作成

1. [**メイン**] ツールバーのバーコードの新規作成ボタン をクリックします。
2. 初めてバーコードオブジェクトを追加する場合は、[**バーコードの選択**] ブラウザが表示され、適切なコード体系を選択できます。その時点から、バーコードボタンをクリックすると、以前に選択されたコード体系が表示されたドロップダウンリストが表示されます。以前に使用したことがないバーコードが必要な場合は、ドロップダウンリストから[**追加のバーコード**] を選択します。
3. カーソルをテンプレートデザインエリアに移動して、オブジェクトの中央になる位置をクリックします。

RFID オブジェクトの作成

1. [**メイン**] ツールバーのエンコーダの新規作成ボタン をクリックします。
2. ドロップダウンリストから適切なエンコーダタイプを選択します。
3. ダイアログボックスから必要なプロパティを選択し、[**閉じる**] をクリックします。
4. エンコーダオブジェクトは、テンプレートデザインエリアの隣に表示されます。

注意:

RFID に対応していない版もあります。

オブジェクトの選択と選択解除

オブジェクトを選択するには、それをクリックします。オブジェクトを選択すると、オブジェクトのサイズ変更に使用するハンドルが、四隅に 1 つずつと四辺の中央に 1 つずつ、合計 8 つ実線で示されます。オブジェクトを選択解除するには、そのオブジェクト以外の任意の場所をクリックします。

オブジェクトを移動する

ラベル表示範囲のオブジェクトの位置を簡単に変更するには、マウスを使ってオブジェクトをクリックアンドドラッグし新しい位置に移動します。

テンプレート上のオブジェクトを別のテンプレートに移動する方法については、下記の*オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け*を参照してください。

オブジェクトの引き伸ばしとサイズの変更

オブジェクトを 1 回クリックして選択してから、オブジェクトの端に表示される小さなハンドルのいずれかをドラッグすると、オブジェクトのサイズが変わります。

1. オブジェクトを選択し、マウスのポインタを四隅のハンドルの 1 つに合わせて、高さと幅を変更します。単一方向にのみサイズ変更するには、四辺のハンドルの 1 つにポインタを合わせます。カーソルは、適切な位置に来ると両端がとがった矢印に変わります。
2. オブジェクトが目的のサイズになるまで、そのハンドルをクリックアンドドラッグします。

オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け

Windows クリップボードの使用

テンプレートデザインエリアにあるオブジェクトは、いずれも、Windows クリップボードと、[**コピー**]、[**切り取り**]、[**貼り付け**] を使用して、コピーし（または切り取って）、他のテンプレートまたは現在のテンプレートに貼り付けることができます。詳細については、Windows のマニュアルを参照してください。

クリックアンドドラッグの使用法

オブジェクトは、テンプレート上の新しい場所にクリックアンドドラッグすることもできます。CTRL キーを押しながらこの操作を行うと、新しい場所にコピーが作成されます。

または、右クリックしてから、目的の場所にドラッグすることもできます。マウスボタンを離すと、ポップアップメニューが表示されます。メニューの [**ここにコピー**] をクリックします。

オブジェクトをテンプレートデザインエリアから削除する

オブジェクトを選択し、DELETE キーを押すか、[**編集**] メニューの [**削除**] をクリックします。（オブジェクトをテンプレートデザインエリアから削除し、その仕様のコピーを Windows クリップボードに保存するには、[**削除**] コマンドではなく [**切り取り**] コマンドを使用します。）

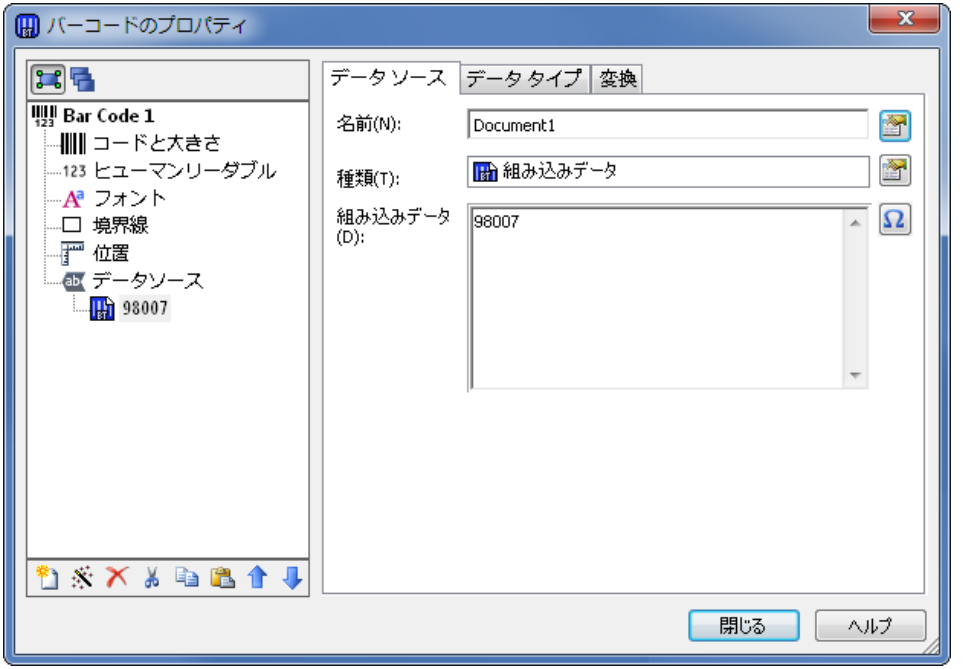
テキストまたはバーコードオブジェクトのデータソースの指定

BarTender テンプレートの中のオブジェクトのデータは、以下を含めたさまざまなソースから取得されます。

- 区切り記号付きテキストファイル、固定幅テキストファイル、OLE DB、ODBC (Open Database Connectivity) データベース、スプレッドシート、SAP™ IDoc などの、データベースに保存されたデータ
- Visual Basic スクリプトから生成されたデータ
- コンピュータのシステム日付および時刻
- BarTender ドキュメントへのデータの直接書き込み

オブジェクトのデータソースを変更するには:

1. データソースを変更するオブジェクトをダブルクリックします。[**オブジェクトのプロパティ**] ダイアログが表示されます。
2. 左側のナビゲーションフレームにある [**データソース**] の下にある対象のサブノードをクリックします。(これが新しいテンプレートオブジェクトの場合は、サブノードは 1 つしかありません。)
3. データソースのタイプの変更ボタン を押して別のソースを選択します。(ソースとして [**データベースフィールド**] を選択した時点でデータベースへの接続の設定がされていない場合は、[**メイン**] ツールバーのデータベースの接続設定ボタン を押します。下記の*印刷のためにデータベースへの接続を設定する*を参照してください。)



複数のデータソースを連結するには:

場合によっては、複数のデータソースの情報を単一のバーコード、またはテキストオブジェクトに配置しなければならないことがあります。このような場合は、複数のデータソースを連結し、単一オブジェクトとして出力します。

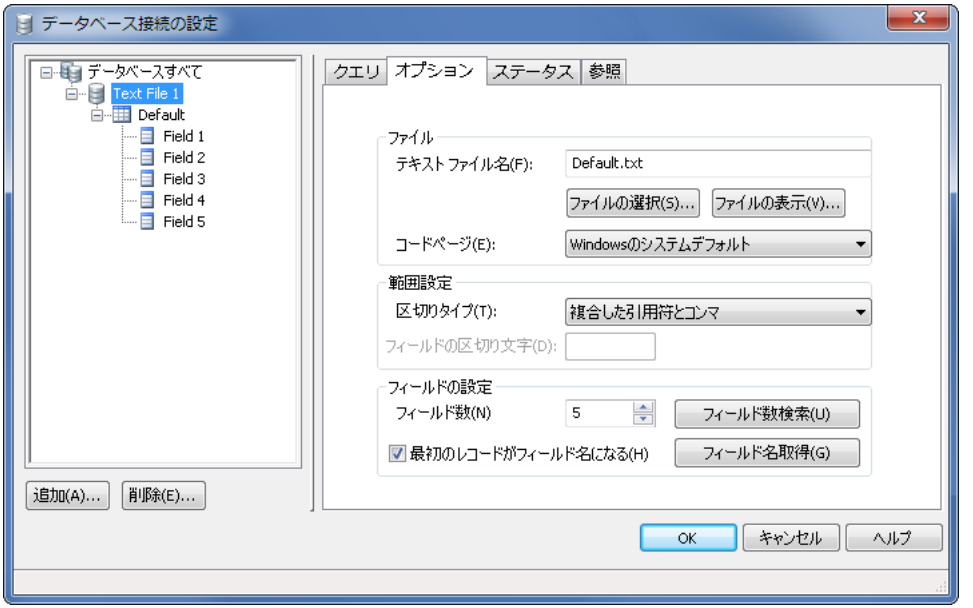
1. [プロパティ] ダイアログで [**データソース**] ノードまたはそのサブノードの 1 つを選択します。
2. ナビゲーションフレームの下にあるツールバーの [データソースの新規作成] ボタン を押して追加のデータソースを挿入します。

データの検証、シリアル化、プロンプトの作成など、データソース関連の詳細については、BarTender のヘルプを参照してください。

印刷のためにデータベースへの接続を設定する

部品一覧や顧客一覧など、データリストを使用してアイテムを印刷するのが望ましい場合があります。それには、データベースからデータを読み込む必要があります。BarTender では、以下のデータベースタイプのデータを読み込むことができます。

- 区切り記号付きテキストファイル、および固定幅テキストファ
- Oracle®、Microsoft Access、Excel、および SQL Server™
- その他の OLE DB サポート対象データベース
- ODBC (オープン データベース接続性) 対応のデータベースとスプレッドシート
- SAP IDoc



BarTender にデータベースからの読み込みを指定するには:

1. BarTender の [**メイン**] ツールバーにあるデータベースの接続設定ボタン をクリックして、[**データベースの接続設定**] ダイアログを開きます。[**データベース接続の追加ウィザード**] がダイアログの中央に表示されます。
2. [**データベース接続の追加ウィザード**] は、データベースの接続の設定に必要な手順を示します。

テーブルの結合、複数データベースからのデータ読み込み、およびクエリの指定については、BarTender のヘルプを参照してください。

バーコードのオプションの変更

1. バーコードをダブルクリックして [**バーコードのプロパティ**] ダイアログを表示します。
2. 左側のナビゲーションフレームの [**コード体系とサイズ**] ノードをクリックして関連する [プロパティ] フレームを表示します。
3. 必要に応じてプロパティを変更します。

フォントの変更

1. バーコードまたはテキストオブジェクトをダブルクリックします。適切な [**プロパティ**] ダイアログが表示されます。
2. 左側のナビゲーションフレームにある [**フォント**] ノードをクリックします。
3. 必要に応じて、書体名、サイズ、斜体、太字、拡大縮小、およびスクリプトを変更します。

オブジェクトのプロパティに対するその他の変更

オブジェクトをクリックすると、そのオブジェクトのタイプに対応した［**プロパティ**］ダイアログが表示されます。左側のナビゲーションフレームのノードをクリックすると、対応する [プロパティ] フレームが右側に表示されます。

画像のインポート

この手順は、各印刷ラベル、カード、タグ、その他のアイテムで画像が変更されないときに使用します。

1. [オブジェクト] ツールバーの画像の新規作成ボタン をクリックします。
2. 表示されるドロップダウンリストから、[**ファイルから挿入...**] を選択します。
3. 必要な画像ファイルを参照して選択します。
4. 画像を配置する場所をクリックします。

テンプレートデザインエリアに画像を配置した後、上記の*オブジェクトを移動する*で説明されている方法で、配置を変更することができます。

データベースから画像をインポートすることもできます。詳しい説明については、オンラインヘルプを参照してください。

印刷

1. [**メイン**] ツールバーの印刷ボタン 、または [**ファイル**] メニューの [**印刷**] オプションをクリックし、[**印刷**] ダイアログを表示します。
2. 適切なプリンタ名が選択されていることを確認します。
3. ドキュメント内のオブジェクトでデータベースファイルからのデータを使用している場合は、[**データベースの使用**] チェックボックスにチェックを付

けます。データベースの接続設定ボタン を使用して、[**データベースの接続設定**] ダイアログを表示することができます。

4. [**枚数**] コントロールに必要な枚数を入力します。
5. [**印刷**] ボタンをクリックします。

既存の BarTender ドキュメントからの開始

BarTender には、デザイン済みのドキュメントが付属しており、その大部分にデザイン済みのテンプレートが 1 つ含まれています。その中に目的に近いものがあれば、そのフォーマットを使用する方が、初めから新しいドキュメントをデザインするよりも速く作成できます。

既存のドキュメントを基に新しくドキュメントを作成するには:

1. [**メイン**] ツールバーの [**ファイルの新規作成**] ボタン を押して、[**ドキュメントの新規作成ウィザード**] を起動します。
2. [**開始点**] では、[**既存の BarTender ドキュメント**] を選択して [**選択...**] ボタンを押します。
3. 左側の [ロケーションショートカット] ナビゲーションバーにある [**BarTender ドキュメント**] の保存場所ボタンを押します。
4. フォルダを参照してドキュメントをクリックするとテンプレートのプレビューが表示されます。開始点として使用するドキュメントが見つかったら、[**開く**] ボタンを押します。
5. ドキュメントの新規作成ウィザードを終了します。このようにして、既存のドキュメントから新しいドキュメントを作成できます。

BarTender ツールボックス

BarTender ツールボックスには、追加機能、および特定のタスクを実行する代替方法が用意されています。ツールボックスには、3 つのフレームがあります。

- **コンポーネント**:このフレームは、設定したバーコード、テキスト、およびその他のオブジェクト、またはオブジェクトのグループを保存するストレージのビンとして機能します。テンプレートにドラッグすることによって、格納されているコンポーネントを再利用します。
- **データソース**:このフレームを使用して、以前に設定したデータベースフィールドや名前付きデータソースなど、オブジェクトを特定のデータソースに簡単にリンクできます。
- **レイヤー:このフレームでは、テンプレート内のレイヤーを作成、削除または変更できます。**

BarTender ヘルプへのアクセス方法

ヘルプシステムにアクセスするには、以下の手順を実行します。

メインのヘルプウィンドウを開くには:

［**ヘルプ**］メニューの［**BarTender ヘルプ**］メニューオプションをクリックします。

操作に応じたヘルプにアクセスするには:

- 各ダイアログで［**ヘルプ**］ボタンをクリックするか、F1 キーを押します。

ヘルプの使用法とカスタマイズの詳細については、ヘルプシステムの *BarTender のオンラインヘルプの使用法*の項目を参照してください。

Visual Basic のヘルプについては、[**ヘルプ**] メニューの [**Visual Basic スクリプトヘルプ**] を選択します。この操作により、デフォルトの Web ブラウザが起動して、Microsoft の完全版 Visual Basic スクリプトのヘルプ文書が表示されます。

第 4 章:Commander 統合ユーティリティ

Commander とは?

Commander は、BarTender の 2 つの Automation 版で使用できるソフトウェアユーティリティです。コマンドラインや ActiveX 自動制御が使用できないか、またはその費用効率が悪い場合、他のプログラムを使用して自動的に BarTender 印刷ジョブを生成できます。Commander は、アプリケーション、または Windows サービスとして実行できます。

アプリケーションで印刷ジョブを生成する必要がある場合は、ネットワーク上で選択した場所へのファイルの配置や、選択したアカウントへの電子メール送信など、トリガイベント (「トリガ」と呼ばれます) が作成されます。Commander はこのファイル (または電子メール) の受信を検出し、BarTender を「起動」して、データが BarTender ドキュメントに読み込まれ、印刷ジョブが自動的に生成されます。

トリガファイルまたはメッセージは空であることもありますが、BarTender、Commander が起動する別のアプリケーション、または Commander 自身によって読み込まれるデータが保存されている場合もあります。トリガ作成アプリケーションは、異なるトリガに異なる内容を含めることができるため、Commander が実行するタスクおよびそのタスクで使用されるデータは、アプリケーションで動的に定義できます。

たとえば、社内受注アプリケーションで、受注データをデータベースに入力し、Commander が監視するディレクトリに NewOrder.dat という空のファイルを保存します。Commander はこのファイルを検出し、BarTender を起動して、指定の時間以降に入力された受注データをデータベースに問い合わせるように設定されたドキュメントを開きます。BarTender はデータを読み込み、ラベル、カード、

値札などのアイテムを印刷します。Commander は、NewOrder.dat ファイルを削除してディレクトリの監視を再開します。

Commander の一般手順

Commander の起動

Commander を起動するには、[**スタート**] メニューの BarTender グループにある Commander アイコンをクリックします。最も一般的なタスクの手順は次の通りです。

Commander のタスク一覧の作成/変更

Commander の動作は、トリガとそれを処理するタスクを識別するタスク一覧によって決定されます。タスク一覧を作成するには、以下の手順を実行します。

1. タスク一覧の新規作成ボタン をクリックして、新しいタスク一覧ファイルを作成するか、[**ファイル**] メニューの [**新規作成**] を選択します。既存のタスク一覧を変更するには、開くボタン をクリックするか、[**ファイル**] メニューから [**開く**] を選択して、タスク一覧ファイルを参照し、[**開く**] をクリックします。
2. タスクの新規作成ツールバーボタン をクリックして新しいタスクを定義するか、[**タスク**] メニューの [**追加**] を選択します。既存のタスクを編集する場合は、タスクを選択してプロパティツールバーボタン をクリックするか、[**タスク**] メニューから [**プロパティ**] を選択します。
3. [**タスクオプション**] ダイアログを使用して、タスクをトリガして、タスクがトリガされた場合に実行するコマンドの選択と設定方法についての情報を入力して、[**OK**] をクリックします。

4. タスク一覧に必要な各タスクに対して、手順 2 と 3 を繰り返してから、タスク一覧を保存します。

Commander のタスクの削除、移動、再配列

一覧からタスクを削除するには、該当するタスクを選択して DELETE ボタンを押すか、または［**編集**］メニューの［**削除**］を選択します。必要に応じて、［**編集**］メニューのアイテムの［**切り取り**］、［**コピー**］、および［**貼り付け**］を使用してタスクを再配列するか、別のタスクリストへ移動します。

Commander のタスク一覧の実行

Commander のタスク一覧を実行するには:

1. 開くボタン をクリックするか、[**ファイル**] メニューの [**開く**] を選択して、タスクリストを開きます。
2. 実行するタスクをそれぞれ選択して、[**タスク**] メニューの [**有効**] を選択してタスクを有効にします。
3. 検出開始ボタン をクリックするか、または [**検出**] メニューの [**検出開始**] を選択して、トリガ検出を開始します。

その他の情報

Commander についての詳細情報源は多数あります。

Commander のヘルプ

Commander には、Commander の詳細な使用例と、その機能に関する追加情報を含む詳しいヘルプシステムが含まれています。

ホワイトペーパー

Commander の使用法に関する詳細情報が説明されている 2 つのホワイトペーパーがあります。

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Codeless-Integration-of-Barcode-and-Label-Printing-with-other-Software(English).pdf

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/label-software/whitepapers/Commander-Examples(English).pdf

付録 A:パフォーマンス向上のための設定

パフォーマンス向上のためのヒント

TrueType フォント印刷機能など、Windows のグラフィック機能によっては、感熱式プリンタに送信される情報の量が多くなることがあります。したがって、使用するプリンタと PC の設定を最適にする必要があります。

以下のヒントには、印刷速度を最速にし、Windows で設定されたイメージとプリンタで設定されたイメージとの違いを理解するための情報が含まれています。

RS-232 によるシリアル通信をできるだけ回避する

感熱式プリンタの機種によっては、9 ピンまたは 25 ピン (RS-232) のシリアルポートが標準装備となっているものがあります。パラレルポート、USB ポート、またはイーサネット接続は追加オプションです。プリンタ内蔵のバーコードと書体を使用するだけであれば、RS-232 のシリアル通信で問題はありません。しかし、Windows のグラフィック機能を活用する場合は、パラレルポート、USB ポート、またはイーサネット接続を使用した方が、パフォーマンスが大幅に向上します。

プリンタベースのオブジェクトとフォントか、ダウンロード済みのフォントをできるだけ使用する

通常、Windows のプログラムでは、画像やダウンロードできないフォントは、ビットマップグラフィック (印刷速度を遅くする可能性のある処理) を使用してドット単位で描画して印刷されます。感熱式プリンタの多くは、高水準コマンドを使用して、バーコード、線、ボックス、拡大縮小可能な内蔵 (またはダ

ウンロード済み) のテキストフォントを出力することができます。たとえば、ある Windows のプログラムでは、ドット別ビットマップ描画によるサイズの大きいテキスト画像を送信する代わりに、高速の制御コードをいくつか出力し、プリンタに内蔵されているフォントを使用して印刷することが可能です。

Windows のプログラムでは、画像をビットマップとして出力しなければならない場合があります。したがって、プリンタに送信する画像が多ければ多いほど、印刷速度は遅くなることに注意する必要があります。

印刷機能は、必ずしもすべてのプログラムに対応していない

感熱式プリンタに内蔵された特殊機能の多くは、プリンタの種類によって異なります。また、感熱式プリンタと、Windows でよく使用されるプリンタは、まったく異なります。これらの理由から、標準的な Windows プログラムが、感熱式プリンタに使う特定の高水準コマンドにアクセスすることは不可能です。しかし、BarTender はこれらのコマンドを利用できるように設計されています。

付録 B:プリンタドライバのトラブルシューティング

付録 A には、印刷時の問題を解決する最適な手順が記載されています。

印刷時の問題を解決するための操作手順

印刷で問題が生じたら、以下の手順を実行します。問題を解決できない場合は、Seagull 技術サポートまでご連絡ください (*付録 D:技術サポート*を参照)。

1. **シリアルポートの設定の確認:**シリアルポートを使用している場合は、使用中のプリンタと Windows のボーレート、データビット、ストップビット、パリティ設定を確認します(*付録 C* の*シリアルポートの設定*を参照してください。)

   使用説明書に記載された「デフォルト」のプリンタ設定値が、プリンタの実際の設定値として反映されているとは限りません。あらかじめ、機械的スイッチ（通常はプリンタの背面にあります）か、フロントパネルのメニュー設定を直接点検してから、プリンタの通信設定値の構成がどのようになっているかを確認します。

2. **ケーブルの確認:**ケーブルが適切に接続されているか、コンピュータの適切なポートに接続されているかを確認します。Windows のプリンタポートの設定が、プリンタケーブルの接続先ポートを適切に示しているかどうかも確認します。

3. **プリンタのステータスページの印刷:**プリンタの機械的な問題かどうかを確認するには、コンピュータではなく、プリンタのコントロールパネルから、プリンタのメモリ内に格納されたドキュメントかラベルを印刷します。このドキュメントは、プリンタモデルに応じて名前が異なります。通常、ステータスページ、サンプルラベル、設定、または設定ラベルなどと呼ばれます。

手順の詳細については、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。テスト文書やラベルを印刷できない場合は、次のトラブルシューティングプロセスを続行する前に、プリンタの保守点検サービスを受ける必要があります。

注意:

プリンタのステータスページを出力するために、プリンタスイッチを調整する必要があった場合は、必ずスイッチを元の位置に戻してください。

4. **プリンタの再起動:** プリンタは、直前に失敗した印刷ジョブの後か、最後に通信設定に変更を加えた後に、適切にリセットされなかった可能性があります。プリンタの電源を切って、5 秒後にもう一度電源を入れます。再起動したら、自動テスト手順が完了したことを確認してから印刷を再試行します。(点滅しているライトがないことを確認します。プリンタによっては、**Ready** (印刷可能) という文字や、印刷可能なことを示すライト (通常、緑色です) が表示されます)。
5. **ドライバのテストラベルの印刷:** 手順 1 から 4 を実行した後の最初の印刷ジョブでは、Seagull プリンタドライバの [**テストラベルの印刷**] 機能を使用します。
   a. Windows の [**スタート**] ボタンをクリックします。
   b. [**設定**] を選択して、[**プリンタ**] を選択します。[**プリンタ**] フォルダが表示されます。
   c. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、[**プロパティ**] オプションを選択します。[**プロパティ**] ダイアログが開きます。
   d. [**全般**] タブをクリックします。
   e. [**テストページの印刷**] をクリックします。

   ラベルが出力されない (空白のラベルも含む) か、プリンタ通信エラーメッセージが表示されない (または、この両方) 場合は、手順 11 に進みます。そうでない場合は、手順 6 に進みます。

6. **アプリケーションからのデバイステキストの印刷:** ご使用のアプリケーションでラベルを作成します。Windows の TrueType ではなく、プリンタ内に定義済みのフォントのみを使用します。このテストで問題がなければ、ラベルにはグラフィックも TrueType も使用する必要はありません。したがって、目的のラベルデザインをすぐに導入し、稼動状態に戻ることができます。
7. **アプリケーションからのグラフィックの印刷 (小さいサイズ):** ごく小さいサイズのグラフィックと、Arial または Times New Roman などの TrueType 文字列の 1 文字をラベルに追加します。最初の文字は 12 ポイントくらいの小さいサイズにします。

   TrueType テキストとグラフィックが印刷されない場合は、プリンタのファームウェアかメモリをアップグレードする必要があります。詳細については、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。
8. **アプリケーションからのグラフィックの印刷 (大きいサイズ):** TrueType テキストの文字ポイントのサイズを上げ、TrueType で、単一文字ではなく単語を 1 つ以上印刷してみます。このテストで問題がなければ、先に進み、ラベルに必要なグラフィックをすべて印刷してみます。
9. **プリンタのメモリ不足の診断:** TrueType やビットマップ グラフィックが、ラベル下部に向かって、ある程度まではすべて完全に印刷されており、ラベル途中で真横に印刷が途切れている場合は、印刷するグラフィックのサイズを出力するだけのメモリがプリンタに不足しています。プリンタの販売代理店にご相談のうえ、プリンタのメモリをアップグレードしてください。

   ラベルの印刷がそのように真横に途切れるのではなく、不適切なラベルデータや壊れたグラフィックイメージが出力されたり、ラベルの出力そのものが行われない場合も、プリンタのメモリ不足が考えられます。シリアルポートを使用している場合は、手順 10 で説明されているとおり、フローコントロール (ハンドシェイキング) の問題があることを示している可能性もあります。(この種類の障害が発生した後は、必ずプリンタの電源を切り、入れ直してください。)

10. **シリアルポートフローコントロールの問題の診断:** シリアルポートを使用して、プリンタにデータをいくつか送った後、印刷ジョブが機能を停止し、通信エラーメッセージが生成された場合は、フローコントロールの問題が考えられます。

    印刷速度を落として、この問題をテストしてください。たとえば、9600 ボーで印刷した場合は、それより低いレベルの 1200 レベル以下のレベルでテスト印刷ジョブを試してください。(Windows とプリンタの両方で、ポートの設定に同じ変更を加えます。)

    ボーレートを下げたことで問題が解消した場合、または同様の処理を行ったことによって以降の印刷ジョブで問題が発生した場合は、フローコントロールの設定値を調整する必要があります。[**ソフトウェア (Xon/Xoff)**] から [**ハードウェア**] フローコントロール (またはその逆) に切り替えてみます。プリンタで [**ハードウェア**] フローコントロールを使用できるケーブルを使用していることを確認します。(プリンタの取扱説明書を参照してください。)

11. **シリアルポートケーブルの問題の診断:** シリアルポートを使用していて、[**テストラベルの印刷**] が失敗した場合は、ケーブル接続の問題をテストできます。このテストは、フローコントロールを一時的にオフにして行います (ハンドシェーク方式)。
    a. プリンタの通信設定と Windows のポート設定が一致していることを確認します。
    b. 「ストレートスルー」シリアルケーブルではなく、「ヌルモデム」ケーブルを使用していることを確認します。
    c. シリアルポートに対応する Windows のフローコントロールの設定値を [**なし**] に変更します。次に、プリンタの電源を切って 5 秒待ち、もう一度電源を入れます。
    d. プリンタの電源オンの自動テストが終了したら、小さい印刷ジョブを繰り返します。

印刷ジョブが成功したら、ケーブルにはフローコントロール（ハンドシェーク方式）システムとの互換性がないことを確認したことになります。ケーブルの何が問題かを突き止めます。修正して、[**ソフトウェア (Xon/Xoff)**］または［**ハードウェア**］フローコントロールに戻します。

12. **その他の問題の診断:** それでも印刷できない場合は、以下の問題が考えられます。

    - 通信ポートへの割り込みや I/O アドレスで競合するハードウェア製品を使用している。

    または

    - Windows の詳細設定が適切でない。

    いずれにしても、コンピュータの販売代理店か、社内のコンピュータサポート担当者に連絡してサポートを受ける必要があります。

    考えられるその他の問題:

    - 不適切なシリアルプリンタケーブルを使用している (または、設定が不適切)。たとえば、簡単な「3 線」のヌルモデムシリアルケーブルでは、フローコントロールを [**なし**] に設定しない限り、Windows 内からの印刷はできません。
    - プリンタケーブルを接続したコンピュータのポートが不適切。
    - コンピュータまたはプリンタのプリンタポートが不適切。
    - プリンタの電源がオフになっているか、ネットワークが接続されていない。
    - コンピュータの通信ポートが、コンピュータ内の他のハードウェアコンポーネントと競合している。

    問題を解決するには、1 つずつ確認していく必要があります。

付録 C:シリアル通信

概要

ご使用のコンピュータで、パラレルポート、USB ポート、またはイーサネット接続のいずれかを利用できる場合は、これらの使用をお勧めします。これにより、プリンタの性能が向上するとともに、どのような種類のケーブルを使ったらよいか迷うこともなくなります。

ただし、プリンタによっては、9 ピンまたは 25 ピン (RS-232) のシリアルポートしかないものもあります。このセクションでは、このような旧式のシリアルポート通信で発生する障害のうち、最も一般的な例をいくつか挙げながら、Windows の最適な設定方法と、適切なシリアルケーブルの選択方法について説明します。

注意:

シリアル通信に関する問題の詳細については、ご使用のプリンタドライバのヘルプの *シリアル通信*のセクションを参照してください。

設定とケーブルに関する問題

コンピュータとプリンタのシリアルポートは、設定が同一でなければ、通信の信頼性は保証されません。また、シリアルケーブルを内部的に接続する方法は複数あり、シリアルケーブルを見ても、それがどのように接続されているかはわかりません。

コンピュータとプリンタとのシリアル通信を制御するのは、印刷を実行する BarTender などのプログラムではありません。この点が重要です。シリアル通信のモードは、以下により制御されます。

- プリンタのシリアルポートの設定。

- コンピュータのシリアルポートの設定。
- 使用するシリアルケーブルの種類。

シリアルポートの設定

シリアル通信は、以下のパラメータによって制御されます。これらのパラメータは、プリンタとコンピュータの両方で同一に設定する必要があります。

- **ボーレート:**プリンタがデータを受信するときの速度です。1 秒あたりのビット数で表します。一般的な値は、2400、4800、9600、19200、38400、および 57600 ボーです。最も一般的なデフォルト設定値は 9600 です。最高速度を設定しておくと、プリンタの機能が保証されます。この速度は、シリアル通信用の各種パラメータを設定して、試行しながら見つけてください。
- **データビット**（一般に「ワード」長またはバイト長と呼ばれます）:プリンタに送出される各文字を符号化するために使用するビット数を指定します。旧式のプリンタではデフォルト値が **7** になっていることがありますが、最も一般的な値は **8** です。
- **パリティビット:**通常、送信済み文字のデータビットの後でエラーチェック用として送信される任意の追加ビットです。設定可能値は、[**奇数**]、[**偶数**]、[**なし**] です。
- **ストップビット:**送信済文字の最後に付加する休止の長さを指します。最も一般的な設定値は、1 ストップビットです。
- **フローコントロール**（「ハンドシェーク方式」と呼ばれることもあります）:[**ソフトウェア**]（**Xon/Xoff** とも呼ばれます）または［**ハードウェア**］に設定することができます。フローコントロールでは、[**なし**] は使用できません。フローコントロールを無効にすると、印刷ジョブに障害が断続的に発生したり、印刷ジョブの処理が完全に失敗することがあります。

注意:

ハンドシェーク方式の選択についての詳細は、ご使用のプリンタドライバのヘルプで、*フローコントロール (ハンドシェーク) の設定*の項目を参照してください。

プリンタでのシリアルパラメータの設定

DIP スイッチの設定、またはプリンタのフロントパネルからアクセスするメニューシステムを使って、プリンタのシリアルポートの設定を制御します。詳細については、使用するプリンタのマニュアルを参照してください。

多くのプリンタでは、上記のパラメータをすべて変更することはできません。必要な設定を決める場合は、使用するプリンタの説明書をよく読んだ上、Windows と同じ設定になるようにしてください。

Windows でのシリアルパラメータの設定

プリンタドライバのインストール時に指定したシリアルポートの設定値を変更する必要がある場合は、以下の手順に従って、シリアルポートを設定します。

1. Windows の[**スタート**] ボタンをクリックします。
2. Windows 2000、2003、および XP では、[**設定**] を選択して、[**プリンタ**] を選択します。Windows Vista では、[**コントロールパネル**] を選択して、[**プリンタ**] を選択します。Windows 7 では、[**スタート**] を選択し、[**デバイスとプリンタ**] を選択します。[**プリンタ**] (または [**デバイスとプリンタ**]) フォルダが表示されます。
3. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、[**プロパティ**] オプションを選択します。[**プロパティ**] ダイアログが開きます。
4. [**ポート**] タブをクリックします。
5. ポートの設定を確認するには、[**ポートの構成**] ボタンをクリックします。[**ポートの設定**] が表示されます。

6. 必要に応じてポートの設定を調整し、[**OK**] をクリックします。
7. [**閉じる**] をクリックして、プリンタの [**プロパティ**] ダイアログを終了します。

適切なシリアルケーブルの使用

プリンタとコンピュータは、その双方が、まったく同じピン上に入力データと出力データを持つシリアルポートを使用するため、一方のポートからの出力データをもう一方の入力データへと交差させる接続の設定方法を確立する必要があります。このような方法で信号を交差させて接続するシリアルケーブルは、ヌルモデムケーブルと呼ばれます。一方、コンピュータをモデムに接続するときによく使用されるストレートスルーシリアルケーブルは、コンピュータ上のピン 1、2、3、...をモデムのピン 1、2、3、...に接続します。プリンタが、ストレートスルーシリアルケーブルで接続されている場合は、コンピュータからの出力信号は、この出力信号を受信するプリンタの入力ピンではなく、出力信号を無視するプリンタの出力ピンに送出されます。

注意:

新しいタイプの感熱式プリンタでは、ストレートスルーケーブルが必須になっている機種もあります。不明な点がある場合は、メーカー提供の取扱説明書を参照してください。

ケーブル接続とフローコントロール (ハンドシェーク方式)

別の回線を交差させて、ハードウェアハンドシェーク方式オプションをプリンタ側から提供できるようにすることも可能です。(上記の*シリアルポートの設定*を参照してください。)したがって、最適なケーブルがどれかを決めるには、プリンタの説明書をよく読むことが大切です。汎用ケーブルの設定では、すべてのプリンタに必要なワイヤ数を上回る数のワイヤが含まれていることがありますが、このように設定することで、広範な機種のプリンタに対応することができます。

注意:

感熱式プリンタで最もよく使用されるヌルモデムケーブルのピン配置図や配線図、および接地方法の注記事項については、使用しているドライバのヘルプを参照してください。

付録 D:技術サポート

この使用説明書やヘルプシステムを参照しても、なお疑問点が解消されない場合は、以下の電話番号または電子メールアドレス宛てに Seagull の技術サポート部門までお問い合わせください。ファックスによる技術サポートのお問い合わせにはファックスで回答いたします。インターネットによる技術サポートのお問い合わせには、インターネットで回答いたします。

技術サポートを受けるにはソフトウェアの登録が*必要*です。

製品は、次の URL でオンライン登録してください。

http://www.BarTenderBarcodeSoftware.com/aspx/registration.aspx

製品を登録していない場合は、技術サポートを受けることができません。

ご使用のコンピュータのすぐそばから電話してください。

技術サポートにお電話いただく際には、BarTender を実行しているコンピュータを隣に置いてお電話ください。ご使用のコンピュータを隣に置いてお電話いただくことで、当社の技術サポート担当者が円滑に回答できます。

Visual Basic スクリプトの技術サポートについて

Visual Basic スクリプトの技術サポートには限界があります。この制限については、BarTender のヘルプで Visual Basic スクリプトの技術サポートの項目を参照してください。

技術サポートの連絡先

次のページをご覧ください。

Seagull Scientific, Inc. - 米国、カナダ、および南米

電話:	1 425 641 1408
ファックス:	1 425 641 1599
E メール:	TechSupport@SeagullScientific.com

Seagull Scientific Europe, Inc. - ヨーロッパ、中東、およびアフリカ

電話:	+34 91 435 55 45
ファックス:	+34 91 578 05 06
E メール:	EuroTech@SeagullScientific.com

Seagull Scientific Asia-Pacific, Inc.

電話:	+886 2 3765 2440
ファックス:	+886 2 3765 2467
E メール:	AsiaTech@SeagullScientific.com

Seagull Scientific Asia Pacific:日本支社

電話:	+81 3 5847 5780
ファックス:	+81 3 5847 5781
E メール:	JapanTech@SeagullScientific.com

索引

A

Access, Microsoft, 28
Automation 版, 2, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 15, 35

B

BarTender の登録, 53
Batch Maker, 11

C

Commander, 3
Commander プログラム
　共通手順, 36
Commander 統合ユーティリティ, 35

E

Enterprise Automation 版, 6, 9
Excel, 28

H

History Explorer, 7

L

Librarian, 7

M

Microsoft Access, 28
Microsoft Excel, 28
Microsoft SQL Server, 28

O

ODBC
　データの読み込み, 26, 28
OLE DB, 26, 28
Oracle, 28

P

Print Station, 10
Printer Maestro, 5

R

Reprint Console, 10
RFID オブジェクト
　作成, 23
RS-232 シリアルポート, 39, 47

S

SAP
　データの読み込み, 26, 28
Seagull License Server, 8
Seagull Scientific
　問い合わせ, 53
Seagull Scientific のインターネット
　アドレス, 54
Seagull Scientific の連絡先. Seagull
　Scientific, 問い合わせを参照
Seagull Scientific の電話番号, 53
Security Center, 5
SQL server, 28
System Database Setup, 9

U

USB ポート
RS-232 以上, 39, 47

V

Visual Basic, 26, 33

W

Web Print Server, 9

イ

イーサネット接続
RS-232 以上, 39, 47
インストール
BarTender System Database, 14, 15
Batch Maker, 13, 14
Commander, 14
History Explorer, 14
Librarian, 14
Print Station, 13, 14
Printer Maestro, 14
Reprint Console, 14
Seagull License Server, 14
Security Center, 14

ウ

ウィンドウ. ダイアログを参照。

オ

オブジェクトの作成
テキスト, 22
バーコードまたは RFID, 23
画像のインポート, 30
オブジェクトの削除, 25
オブジェクトの消去, 25
オブジェクトの移動, 24

グ

グラフィック
インポート, 30

ク

クリップボード, 25

コ

コード体系, 29
コピー
オブジェクト, 25

サ

サイズ
テンプレート. テンプレートサイズを参照。
用紙, 21
サポート
技術, 53

シ

シリアルケーブル, 50
シリアルポート
パラメータ, 48
シリアルポートパラメータ
Windows, 49
プリンタ, 49
シリアル通信, 47

ス

ストック, 21

ストレートスルーシリアルケーブル, 44, 50

ダ

ダイアログ
データベースの接続設定, 31
バーコードのプロパティ, 29
プロパティ, 29
ページ設定, 21
印刷, 20, 30
ダイアログ (Commander)
タスクオプション, 36
ダウンロード可能なフォント, 39

タ

タスク一覧
Commander での作成/変更, 36
削除、移動、再配列, 37
実行, 37

ツ

ツールボックス, 32

デ

データソース
仕様の変更, 26
連結, 27
データベース
データの書き込み, 16
データの書き込み先, 7
データの読み込み, 26, 28
作成と管理, 15
接続の設定, 29
データベースからのデータの読み込み, 28
データベースからの読み込み, 26
データベース接続の追加ウィザード, 29

テ

テキストオブジェクト
高さの変更, 24
テキストオブジェクトの作成, 22

デ

デザイン済みのテンプレート, 31
デザイン済みのドキュメント, 31

テ

テンプレート
Seagull Scientific より供給, 31
既製, 31
テンプレートサイズ
指定サイズの変更, 21
テンプレートの印刷, 30
テンプレートの高さと幅
指定, 22

ド

ドキュメント
Seagull Scientific より供給, 31
作成, 19
再印刷, 10
改訂履歴, 7
既存, 31
既製, 31
ドキュメントの新規作成ウィザード, 19

ドライバウィザード, 16
ドライバのアップグレード, 17
ドライバのインストール
  Seagull ドライバウィザード, 16
ドライバの削除, 17

ヌ

ヌルモデムケーブル, 44, 50

バ

バーコード
  コード体系の変更, 29
  サイズの変更, 24
  作成, 23
  移動, 24

パ

パラレルポート
  RS-232 以上, 39, 47

ハ

ハンドシェイキング
  シリアルポート, 43, 44, 50
ハンドル, 24

プ

プリンタ
  パフォーマンス向上のためのヒント, 39
  備品の管理, 6
  指定プリンタの変更, 20
プリンタベースのオブジェクトとフォント, 39
プリンタ消耗品の追跡. プリンタ, 備品の管理を参照。

フ

フローコントロール
  シリアルポート, 43, 44, 50

プ

プロパティ
  オブジェクト, 30

ヘ

ヘルプシステム
  ヘルプの表示, 32
ヘルプの表示, 32

ラ

ライセンス認証, 13, 18

ロ

ロギング. データベース, データのログ書き込み先を参照してください。

位

位置
  オブジェクトの位置の変更, 24

余

余白
  ページ, 22

備

備品の管理. プリンタ, 備品の管理 を参照。

割

割り込みや I/O アドレスの競合, 45

印

印刷, 30
  RFID, 1
  カード, 1
  テストラベル, 41, 42
  トラブルシューティング, 41
  ラベル, 1
  値札, 1

向

向き, 21

技

技術サポート, 53

操

操作に応じたヘルプ, 32

新

新しいフォーマットの作成, 19

既

既存のテンプレート, 31
既存のドキュメント, 31

日

日付
  オブジェクトデータとして, 26

時

時刻
  オブジェクトデータとして, 26

画

画像
  データベースからインポート, 30
  ファイルからのインポート, 30
画像のインポート, 30
画面. ダイアロクを参照。
画面データ, 26

統

統合
  BarTender の .NET SDK を使用する, 4
  トリガ使用, 3

選

選択
  オブジェクト, 24

高

高さ
  テキストオブジェクトの変更, 24
  バーコードの変更, 24

SEAGULL SCIENTIFIC

Corporate Headquarters

Seagull Scientific, Inc.
Bellevue, WA, USA

Sales & Reseller Services:
1 800 758 2001 / 1 425 641 1408
sales@seagullscientific.com

Fax: 1 425 641 1599
Tech Support: 1 425 641 1408

EMEA Headquarters

Seagull Scientific Europe, Inc.
Madrid, Spain

Sales: +34 91 435 25 25 (Main)
+44 1926 428746 (UK Branch)
emeasales@seagullscientific.com

Fax: +34 91 578 05 06
Tech Support: +34 91 435 55 45

Asia-Pacific Headquarters

Seagull Scientific Asia-Pacific, Inc.
Taipei, Taiwan

Sales: +886 2 3765 2440 (Main)
asiasales@seagullscientific.com

Fax: +886 2 3765 2467
Tech Support: +886 2 3765 2440

Japan Headquarters

Seagull Scientific: Japan Branch
Tokyo, Japan

Sales: +81 3 5847 5780 (Main)
japansales@seagullscientific.com

Fax: +81 3 5847 5781
Tech Support: +81 3 5847 5780

Windows 8 Compatible

Business Solutions BEST CHANNEL VENDOR 2013

GS1 US Solution Partner

GOLD 2013 TOP TEN REVIEWS

Member AIM Association for Automatic Identification and Mobility

ORACLE Validated Integration
Oracle E-Business Suite

SAP® Certified
Integration with SAP Applications

Microsoft Partner
Silver Application Development

© 2013 Seagull Scientific, Inc., BarTender and Drivers By Seagull are trademarks or registered trademarks of Seagull Scientific, Inc. Windows and the Windows logo are trademarks of the Microsoft group of companies. Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. The SAP Certification Logo is the registered trademark of SAP AG in Germany and in several other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.